

# 奈良県コンベンションセンター



【天平広場】

# 奈良県コンベンションセンター



【コンベンションホール】

# 奈良県コンベンションセンター



【ホワイエ】

# 奈良県コンベンションセンター木造・木質化の概要

【所在地】 奈良市三条大路

【構造】 鉄筋コンクリート造、鉄骨造、鉄骨・木混構造

【階数】 地上2階 地下2階

【竣工期日】 令和2年3月

【整備内容】 コンベンション施設、観光振興施設の内外装木質化  
鉄骨・木のハイブリッド構造の大屋根

【規模】 延べ床面積 35,932.23 m<sup>2</sup>

【県産材使用量】 約 300 m<sup>3</sup>以上

【樹種】 スギ、ヒノキ

【特徴】

- 正倉院の校倉造りをイメージした外観、内装に地元奈良の素材を生かした空間が広がり、効果的かつ多様な県産木材の使い方が試みられている。
- コンベンション施設と観光振興施設の間には、「天平広場」があり、鉄骨造により長スパン化を図りながら、高井圧縮剛性を持つ木材を補剛材として活かしたハイブリッド構造の大屋根により、雨天時もイベントスペースとして活用できる。
- 「ウッドデザイン賞2020」優秀賞（林野庁長官賞）受賞